

2年	科目	英語VII	講義	通年	担当	E, D, S 村松 直子・ M, C 福島 礼子
全学科共通		English Writing II	必修	2履修単位		(E,D,S) MURAMATSU Naoko / (M, C) FUKUSHIMA Ayako
授業の概要						
<p>高専1年生までに学んだ英文法、語彙、表現の基礎知識を活用し、英語ライティングを通して、日常生活や自身のことを2、3行程度の英語で表現できる発信型の英語力を身に着けることを授業目標とする。毎回、授業前半ではドリルを用いて既習の英語知識を使って英作文の練習を行う。授業後半では、担当教師の指導を受けながら、日常生活の出来事や自身のことについて英作文する。授業時に英語インプットとアウトプットの機会を多く持ち、共に学べるように、ピア・サポート、グループ・ライティング等の協同学習も随時行う。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
<p>1. 高専1年生までに学んだ英文法、語彙、表現を理解できる。 2. 既習の英語知識を使って、日常生活や自分の考えを相手に伝える英語で英作文できる。 3. 「総合英語」の授業と合わせて、TOEIC140点以上相当の英語力を身に付ける。</p>						
授業計画						
第1回	ガイダンス	教育目標・授業概要・評価方法等の説明。英語コミュニケーション(自己紹介)				
第2回	第1章	文の種類(ドリルの学習内容)	日本語と英語の違い(1)(授業後半のアクティビティ)			
第3回	第2章	動詞と文型	日本語と英語の違い(2)			
第4回	第3章	動詞と時制	英作文の語順で書く			
第5回	第4章	完了形	英作文の基本文型で書く			
第6回	第5章	助動詞	依頼文を書く、気持ちを表現する(1)			
第7回	第6章	態	自己紹介英作文(随時ペア・ワーク、グループ・ワーク)			
第8回	前期中間試験	到達度チェック	"			
第9回	第7章	試験返却・解説、不定詞	英作文			
第10回	第8章	動名詞	'It'を主語に使う(1)			
第11回	第9章	分子	'It'を主語に使う(2)			
第12回	第10章	比較	英作文			
第13回	第11章	関係詞	"			
第14回	第12章	仮定法	気持ちを表現する(2)			
	前期末試験	到達度チェック	"			
第15回	第13章	試験返却・解説、疑問詞と疑問文	"			
第16回	第14章	否定	英作文			
第17回	第15章	話法	"			
第18回	第16章	名詞構文・無生物主語	無生物主語を使う(1)			
第19回	第17章	強調・倒置・挿入・省略・同格	無生物主語を使う(2)			
第20回	第18章	名詞	無生物主語を使う(3)			
第21回	第19章	冠詞	英作文			
第22回	後期中間試験	到達度チェック	"			
第23回	第20章	試験返却・解説、代名詞	"			
第24回	第21章	形容詞	"			
第25回	第22章	副詞	意見を述べる(1)			
第26回	第23章	前置詞	意見を述べる(2)			
第27回	第24章	接続詞	"			
第28回	英作文	グループ・ライティング、書き直し、発表				
第28回	英作文	グループ・ライティング、書き直し、発表				
	後期末試験	到達度チェック	"			
第30回	まとめ	試験返却・解説、一年間のまとめ				
評価方法 と基準	定期試験70パーセント、課題英作文20%、平常点(出席状況、授業への取り組み、宿題への取り組み等)10% 科目全体で60点以上の場合に合格とする。					
教科書等	『総合英語Forest Master Drills for 7th Edition 標準編』、『総合英語Forest 7th Edition』、英和辞典、和英辞典					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					